

履修方法 (卒業資格取得のための最低単位数)

本学は臨床教育学部 教育学科・児童教育学科の2学科と経営教育学部 経営教育学科で構成されている。各学科の授業科目は基礎教養科目、外国語科目、保健体育科目、専門教養科目からなっている。卒業に必要な単位数およびその内容は次の一覧表のとおりである。

卒業要件区分および単位数一覧表 (数字は単位数)

区分		臨床教育学部		経営教育学部
		教育学科	児童教育学科	経営教育学科
基礎教養科目	必修	—	—	2
	選択	12	12	10
	小計	12	12	12
外国語科目	英語、ドイツ語、韓国朝鮮語、日本語	4	4	4
保健体育科目	健康スポーツ科学概論	2	2	2
専門教養科目	必修	16	24	18
	選択	90	82	88
	小計	106	106	106
総計		124	124	124

基礎教養科目（全学部全学科共通）

基礎教養科目は卒業に必要な 12 単位を修得しなければならない。

基礎教養科目開講一覧表

科目	単位	学年	分類
哲学入門	2	1	A 群
倫理学入門	2	1	A 群
心理学入門	2	1	A 群
社会学入門	2	1	B 群
経済学入門	2	1	B 群
生物学入門	2	1	C 群
数理学入門	2	1	C 群
物理学入門	2	1	C 群
スポーツ教育学入門	2	1	D 群－教
経営学入門	2	1	D 群－経
児童教育入門	2	1	D 群－児

《目的》

各研究分野の主な基礎的知識を学ぶとともに、各学科の専門教養につながる教養を身につける。

A 群「人文科学分野」 B 群「社会科学分野」 C 群「自然科学分野」 D 群「各学科が必要と考える基礎科目」の分類

《単位修得》

12 単位を修得すること。（卒業単位に必要）

上表の区分欄 A 群から C 群よりそれぞれ履修し、D 群より所属する学科の開講科目を含め履修することが望ましい。

経営教育学部経営教育学科の学生は「経営学入門」を必修とする。（卒業単位に必要）

科目はすべて 60 人定員で履修登録を受け付けるので、抽選科目対象の履修登録で申し込むこと。

12 単位以上修得しても、基礎教養科目の卒業に必要な単位には算入されない。

外国語科目（全学部全学科共通）

卒業に必要な外国語科目的単位は次のとおりである。

科目	単位	学年	科目	単位	学年	科目	単位	学年	科目	単位	学年
英語 A	2	1	ドイツ語 A	2	1	韓国朝鮮語 A	2	1	日本語 A	2	1
英語 B	2	1	ドイツ語 B	2	1	韓国朝鮮語 B	2	1	日本語 B	2	1

「外国語科目」

《単位修得》

- 履修年度に開講されている語学より2科目を選択し4単位を必修すること。(卒業単位に必要)
- 教職課程履修者は、当該年度で開講されている英語A・ドイツ語Aのうちいずれか1科目を必修とすること。
- 当該年度で開講されている外国語科目(日本語I IIを除く)は、履修人数を定めて、履修登録を受け付けるので、抽選科目対象の履修登録で申し込むこと。
- 日本語I IIは、外国人留学生のみの開講科目とし、2科目4単位を必修すること。

保健体育科目（全学部全学科共通）

卒業に必要な保健体育科目的単位は次のとおりである。

科目	単位	学年
健康スポーツ科学概論	2	1

「保健体育科目」

《単位修得》

- 健康スポーツ科学概論2単位を必修すること。(卒業単位に必要)

大学生活入門・キャリア基礎・キャリアデザインI・II（全学部全学科共通）

1年生及び2年生に設置し、学則上は専門教養科目的選択科目であるが、全学生が必ず履修しなければならない。学生及び教員の編成において、最大限に教育効果が発揮できることを第一に考慮する。

(注1) 詳細については、履修指導の際に説明する。

(注2) 再履修はできない。

専門教養科目

専門教養科目は必修科目、選択科目の分野より構成され、次の表のように定められた卒業に必要な単位数を修得しなければならない。

専門教養科目履修単位数一覧表

分野	臨床教育学部		経営教育学部
	教育学科	児童教育学科	経営教育学科
必修	16	24	18
選択	90	82	88
計	106	106	106

各学部学科の専門教養科目については、以降の通りとする。

全学部・学科 共通開講科目（専門教養科目 選択科目）

別表（1）-2 専門カリキュラム（共通）

分類	科 目	単 位	学 年	分類	科 目	単 位	学 年
専門教養科目 （全学共通）	Cross-Cultural Understanding	2	1	キャリア教育科目群 （全学共通）	大学生活入門	2	1
	English Presentation	2	1		キャリア基礎	2	1
	Intermediate English Reading	2	1		簿記入門	2	1
	Intermediate English Writing	2	1		簿記論	2	1
	Practical English A	2	1		キャリアデザイン I	2	2
	Practical English B	2	1		キャリアデザイン II	2	2
	海外語学研修	4	1		ビジネスマナー	2	2
	※日本語漢字・語彙 I	2	1		インターンシップ	1	—
	※日本語聴解・会話 I	2	1		情報機器の操作	2	1
	※日本語聴解・会話 II	2	1		情報処理技法 I (表計算)	2	2
	※日本語読解 I	2	1		情報処理技法 II (表計算)	2	2
	※日本語読解 II	2	1		情報処理技法 I (文書作成)	2	2
	※日本語文章表現 I	2	1		情報処理技法 II (文書作成)	2	2
	※日本事情演習	2	1		情報リテラシー	2	2
	※留学事情演習 A	2	1				
	※留学事情演習 B	2	1				
	Advanced English Reading	2	2				
	Advanced English Writing	2	2				
	English Debate	2	2				
	English Discussion I	2	2				
	※日本語漢字・語彙 II	2	2				
	※日本語特別演習 I	2	2				
	※日本語特別演習 II	2	2				
	※日本語文章表現 II	2	2				
	※日本語文章表現 III	2	2				
	English Discussion II	2	3				

【履修方法】全学部学科共通

- 上表の全学部・学科共通開講科目（専門教養科目 選択科目）（以下「学部学科共通選択科目」という）は、2017年4月より在籍している全ての学生を対象とする。
- 上表の学部学科共通選択科目で修得した単位は、学則第7条の卒業要件単位の専門教養科目選択の単位に加えられる。
 - 教育学科では、専門教養科目選択 90 単位の中に加えられる。
 - 児童教育学科では、専門教養科目選択 82 単位の中に加えられる。
 - 経営教育学科では、専門教養科目選択の 88 単位の中に加えられる。
- グローバルラーニング科目群の※印の科目は、外国人留学生のみ履修登録し修得することができる科目とする。（外国人留学生は、在学中に履修登録し学修することを必須とする。）
- キャリア教育科目群の「1年生前期 大学生活入門」「1年生後期 キャリア基礎」「2年生前期 キャリアデザイン I」「2年生後期 キャリアデザイン II」は、全学生が必ず履修しなければならない。
- 情報科目群の「情報機器の操作」は、経営教育学科は、必修科目とする。（卒業単位に必要）
- 情報科目群の「情報機器の操作」は、教育職員免許状の取得を希望する場合は、必修すること。

臨床教育学部 児童教育学科

児童教育学科専門教養科目一覧表

分野	学科目	単位	学年	分野	学科目	単位	学年	分野	学科目	単位	学年	分野	学科目	単位	学年
必修	教育学概論 I	2	1	選択	声 楽 II	2	1	選択	児童福祉 II	2	2	選択	病弱者の心理・生理・病理	2	2
	教育心理学 I 【初等】	2	1		特別講義 I	2	1		児童文化	2	2		保育内容 II 【人間関係】	2	2
	子どもの文学 I	2	2		特別講義 II	2	1		社会的養護 II	2	2		保育内容 III 【環境】	2	2
	児童福祉 I	2	2		特別支援学校観察実習	1	1		障害者スポーツ概論	2	2		保育内容 IV 【言葉】	2	2
	家庭支援論	2	3		特別支援教育総論	2	1		障害児臨床	1	2		幼児理解の理論と方法	2	2
	児童教育学総論 I	2	3		乳児保育 I	2	1		初等教科教育法 I 【国語】	2	2		家庭概論	2	3
	専門演習 I	4	3		保育内容 I 【健康】	2	1		初等教科教育法 II 【社会】	2	2		環境保全管理学	2	3
	専門演習 II	4	4		保育内容指導法 I	2	1		初等教科教育法 III 【算数】	2	2		教育課程論 【初等】	2	3
	卒業論文	4	4		保育内容総論	2	1		初等教科教育法 IV 【理科】	2	2		教育実習 【小学校】【幼稚園】	4	3
	ICT活用の理論と方法	1	2		初等教科教育法 V 【生活】	2	2		教育実習事前・事後指導 【小学校】【幼稚園】	1	3		教育相談の理論と方法 【初等】	2	3
選択	器楽 I	1	1		图画工作 I	2	2		世界教育史	2	2		教育哲学	2	3
	器楽 II	1	1		子どもと音楽	2	2		子どもと人間関係	2	2		国語概論 (書写含む)	2	3
	教育学概論 II (保育内容を含む)	2	1		子どもとの理解と援助	2	2		子育て支援	2	3		視覚障害者の心理・生理・病理	1	3
	教育心理学 II	2	1		知的障害児の教育 I	2	2		視覚障害児の教育	1	3		肢体不自由児の教育 II	2	3
	教育の文学	2	1		教育の方法と技術 【初等】	2	2		データサイエンス	2	2		児童英語	2	3
	教職論 【初等】	2	1		教育方法の文学	2	2		道徳教育の指導法 【初等】	2	2		社会概論	2	3
	健康スポーツ科学実習	1	1		教室英語 【初等】	2	2		特別活動の指導法 (総合的な学習を含む) 【初等】	2	2		初等教科教育法 VI 【音楽】	2	3
	子どもの保健	2	1		子どもの健康と安全	2	2		特別講義 III	2	2		初等教科教育法 VII 【图画工作】	2	3
	子どもと健康	2	1		子どもの食と栄養	2	2		特別講義 IV	2	2		初等教科教育法 VIII 【家庭】	2	3
	子どもと環境	2	1		子どもの文学 II	2	2		日本教育史	2	2		初等教科教育法 IX 【体育】	2	3
	子どもと言葉	2	1		肢体不自由児の教育 I	2	2		乳児保育 II	1	2		初等教科教育法 X 【英語】	2	3
	子どもと造形	2	1		肢体不自由者的心理・生理・病理	2	2		発達心理学 I	2	2		情報科学	2	3
	児童体育	2	1		児童心理学 I	2	2		発達心理学 II	2	2		数学概論	2	3
	社会的養護 I	2	1		児童心理学 II	2	2								
	社会福祉 (障害児教育含む)	2	1												
	障害児保育	2	1												
	声楽 I	2	1												

分野	学科目	単位	学年	分野	学科目	単位	学年	分野	学科目	単位	学年	分野	学科目	単位	学年
選択	生徒・進路指導の理論と方法【初等】	2	3	選択	保育原理	2	3	選択	保育内容VI 【表現・音楽リズム】	2	3	選択	日本文化研究I	2	4
	知的障害児の教育II	2	3		保育実習I-1 (保育所)	2	3		保育の計画と評価	2	3		日本文化研究II	2	4
	聴覚障害者の心理・生理・病理	1	3		保育実習I-2 (施設)	2	3		理科概論	2	4		保育実践演習	2	4
	聴覚障害児の教育	1	3		保育実習事前 事後指導I-1	1	3		学习心理学I	2	4		特別講義VII	2	4
	重複障害教育の理論と実際	1	3		保育実習事前 事後指導I-2	1	3		学习心理学II	2	4		特別講義VIII	2	4
	特別講義V	2	3		保育実習II	2	3		教職実践演習 【幼・小】	2	4				
	特別講義VI	2	3		保育実習事前 事後指導II	1	3		生活概論	2	4				
	日本国憲法	2	3		保育者論	2	3		特別支援教育実習	3	4				
	病弱児の教育	2	3		保育内容V 【表現・絵画制作】	2	3		特別支援教育総論 【初等】	1	4				

(注1) 教職課程履修者は、後掲の教職課程履修方法を参照すること。

児童教育学科

◇コース及びコース内履修科目（選択による専門教養科目的履修）

子ども一人一人に備わっている可能性を、できる限り引き出すための教育を臨床教育学的に学習し研究する。ことに、幼稚園や小学校、特別支援学校の教員や保育士を目指す学生に対しては、教員・保育者の資質として必要な識見と専門的な指導力を身に付け、情熱と責任感をもって子どもの心に寄り添い、もって社会の発展に寄与する人材を育成する。

2コース（幼児教育コース、初等教育コース）いずれかを選択する。

A 幼児教育コース

主に保育士や幼稚園教員など、保育者を目指す学生のためのコースである。

子どもの成長を愛情と責任感をもって見守り、発達段階に応じて適切な指導・援助ができる、優れた保育者を養成する。実際の保育・教育現場を体験できる機会を数多く設け、保育者に求められる専門的知識と実践的指導力を養う。

このコースでは、保育士資格、幼稚園教諭一種免許状に加え、小学校教諭一種免許状または特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）のいずれかの取得が可能である。

ただし、特別支援を含む3免許・資格の取得については、一定の条件が必要となるため注意すること。

B 初等教育コース

主に小学校教員、特別支援学校教員を目指す学生のためのコースである。

教育的愛情や学び続ける向上心など教育への情熱とともに、子ども理解と実践的指導力など教育の専門家としての基盤となる資質を有する優れた教員を養成する。また実際の教育現場で必要とされている特別支援教育の正しい知識を身に付け、子どもたちへの適切な指導や支援ができる教員を養成する。

このコースでは、小学校教諭一種免許状と特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）、または幼稚園教諭一種免許状の取得が可能である。

上記の目標を達成するために学科全体として独自の必修科目及び専門教養科目を置いている。保育士資格、幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状、特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）取得希望者は便覧の指示に従うこと。なお、特別支援学校教諭一種免許状は、幼稚園または小学校の普通免許状を有することが条件となる。

- ◎幼稚園教諭一種免許状取得希望者は、1年次の「声楽Ⅰ・Ⅱ」「器楽Ⅰ・Ⅱ」を履修することが望ましい。2年次の「器楽Ⅲ」は、幼稚園教育実習参加要件となるため、必ず履修すること。
- ◎保育士資格・幼稚園教諭一種免許状取得希望者は、「保育実習Ⅰ-1」「保育実習Ⅰ-2」「保育実習Ⅱ」「教育実習【幼稚園】」の履修までに、1年次の「保育内容指導法Ⅰ」を修得すること。
- ◎「児童指導員任用資格」「社会福祉主任用資格」も取得可能。
- ◎公益財団法人日本障がい者スポーツ協会公認「初級障がい者スポーツ指導員資格」については別紙参照のこと。